

**製品名: NEDD8 活性化酵素 E1C ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe03243**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.65mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000
分子量	Calculated MW: 52 kDa; Observed MW: 52 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	UBA3
別名	NAE2; UBE1C; hUBA3
遺伝子 ID	9039
SwissProt ID	Q8TBC4
免疫原	ヒト UBA3 の合成ペプチド

**背景**

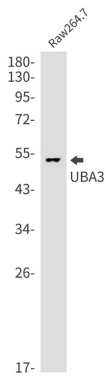
ユビキチンによるタンパク質の修飾は、異常なタンパク質や短寿命タンパク質を分解対象とする重要な細胞機構です。ユビキチン化

には、少なくとも3種類の酵素、すなわちユビキチン活性化酵素 (E1)、ユビキチン結合酵素 (E2)、そしてユビキチンタンパク質リガーゼ (E3) が関与します。この遺伝子は、E1 ユビキチン活性化酵素ファミリーのメンバーをコードしています。コードされている酵素は、アミロイドβ前駆体タンパク質結合タンパク質である AppBp1 と会合してヘテロ二量体を形成し、その後、酵素複合体は細胞分裂、シグナル伝達、および胚発生を制御するユビキチン様タンパク質である NEDD8 を活性化します。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが見つっています。

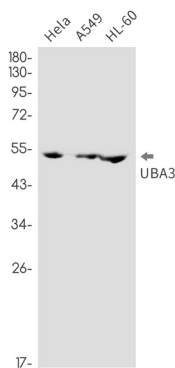
## 研究分野

細胞生物学

## 画像データ



NEDD8 活性化酵素 E1C 抗体を使用した Raw264.7 溶解物中の UBA3 のウェスタンブロット分析。



UBA3 抗体を使用した HeLa、A549、HL-60 溶解物中の UBA3 のウェスタンブロット分析。